



荒木信子「失われた街」

1986年「津駅前北部地区市街地再開発事業」、次いで88年「土地区画整理事業」が、「良好な住環境を形成するため」という名目で計画され、幅員十六～七メートルの道路四本が街中を貫き、二ヶ所の公園が設置されることになりました。住民は立ち退きを強いられ散り散りになり、小規模商店は店を閉め、旧参宮街道すら残らず、生活道路だった路地も失われてしまいました。散歩道、買い物道、駅への通勤・通学路などに利用された風情のある路地だったのに……

永年住み慣れた我が家は2010年に取り壊されました。周りの家々も次々と無くなっていきました。家の跡地は幅広道路となり、見慣れた風景が全く変貌を遂げました。寂しさと虚しさが込み上げ様々な思い出が胸を過ぎります。

